

公文書管理の在り方等に関する有識者会議（第1回）議事概要

- 1 日時 平成20年3月12日（水）18:00～19:30
- 2 場所 中央合同庁舎4号館共用第4特別会議室
- 3 出席者
(有識者・50音順、敬称略)
朝倉敏夫、宇賀克也、尾崎護（座長）、加藤丈夫、加藤陽子、後藤仁、高橋滋、高橋伸子、野口貴公美
(オブザーバー)
菊池光興国立公文書館長
(政府)
上川陽子公文書管理担当大臣、山本明彦内閣府副大臣、戸井田とおる内閣府大臣政務官、坂篤郎内閣官房副長官補、山本信一郎内閣府大臣官房長、村木裕隆総務省行政管理局長、山崎日出男内閣官房公文書管理検討室長
- 4 議事次第
 - (1) 開会
 - (2) 上川公文書管理担当大臣あいさつ
 - (3) 山本内閣府副大臣あいさつ
 - (4) 戸井田内閣府大臣政務官あいさつ
 - (5) 構成員紹介
 - (6) 座長選任
 - (7) 座長あいさつ
 - (8) 有識者会議の運営について
 - (9) 制度の現状等について
 - (10) 自由討議
 - (11) 閉会
- 5 議事の経過
 - ◎上川大臣開会挨拶、山本副大臣挨拶、戸井田政務官挨拶、各メンバー自己紹介及び政府側メンバー紹介後、有識者の互選により尾崎護氏が座長に選任された後、座長の指名により、宇賀克也氏が座長代理に選任された。
 - ◎公文書管理の制度の現状について、山崎内閣官房公文書管理検討室長から資料に従い説明の上、フリートーキングを行った。
 - ◎フリートーキングでは、国立公文書館の体制整備、中間書庫やデジタルアーカイブ化についても議論すること、グローバルスタンダードに立った文書管理の必要性などが話題となった。
 - ◎6-7月の中間報告、10月の最終とりまとめの方向で、次回は3月下旬～4月に開催とされた。

<文責：内閣官房公文書管理検討室（速報のため事後修正の可能性あり）>